



# コーホート

## 17年目のHop! Step! Jump!

ちゃぶ台次世代コーホート通信第2号  
山口大学教育学部 (ちゃぶ台方式教職研修部)  
ちゃぶ台次世代コーホート事務局  
山口県山口市吉田1677-1

### 11月3日のちゃぶ台は「Advanced course」と「Basic course」合同研修会@周南市

本年度第2回・第3回のコーホート研修会(Advanced course第5回・第6回研修会)を、山口や大学を飛び出して、午前  
は徳山動物園、午後はと徳山駅前図書館にて開催しました。参加者は、午前は受講生34人(現職教員18人、学生16人)、大  
学スタッフ10人、県教委1人、講師4人、計49人、午後は、受講生37人(現職教員23人、学生14人)、大学スタッフ16人、  
県・市教委5人、講師2人、計60人でした。

### ★フィールドワーク★「動物たちの生態と人との距離」

指導者 周南市徳山動物園 園長補佐(獣医師) 木原一郎さん+飼育員の皆さん

♡コーホート(教職志望学生[学部生]や若手教員)の振り返りを通して、研修会の様子をお伝えします。♡

久しぶりに、徳山動物園を訪れて、きれいになっ  
ていることに驚きました。時代に合わせ  
て、施設や企画も変化しているということが印  
象的でした。私も時代に合わせて、どんどん新  
しいことも吸収し、学んでいかなければならな  
いと改めて感じました。

また、ただのお客さんとしてだけでなく、教  
育の視点をもって観ると様々な発見もありま  
した。動物の環境づくり、叱ること褒めること、  
リスクマネジメント、動物園の社会的な役割を  
考へての取組など教育に繋がると思いました。  
(小学校教諭)



動物園としての動物たちの展示だけでなく、その動物についての知識や環境問題に絡めて展示  
していることが印象的だった。動物と触れ合うことで、地球を取り巻く環境問題についても興味  
をもつことができるキッカケをつくることができると思う。

授業においても、関連させることで、授業内容を理解しやすくなると思うので、た  
だ教科書の内容を教えるだけでない授業をできる教員を目指したい。  
(大学3年生)

飼育員の方の話聞きながら見て回る動物園を、いつもと違う視点でとらえることができま  
した。猛獣部屋に入った体験は、身をもって飼育員の日々の大変さを学べました。

ライオンやトラが単体で狭いスペースで飼われているから「もっと広くしたら」と、SNSで言  
われることもあると聞きました。しかし、群れて飼うと動き回ったり、餌の争奪戦があったり  
と、早死にするリスクが高まるそうです。逆に、単体だと好きな時に就寝できるし、好きな分  
だけ食べられるし、ゆっくり生活ができると言います。来場者にどう見せるか、その工夫も必要で  
すが、一番は、やはり動物の生活や環境を守ることだと気付かされました。

例えば、ライオンは高齢で足が弱いため、ウッドチップを敷いているそうです。海外だと、高  
齢なら安楽死という選択もあるそうですが、日本の場合、死ぬ瞬間まで最善を尽くすという考  
えがあるからです。飼育員の方が何度もおっしゃっていた、日本における「宗教観」や「人生観」  
が動物の飼育方に直結するという考え方が深く心に残りました。

フィールドワークを行う前に配布された資料に、教材・学習の場としての「動物園」と書かれ  
ていました。動物の生態や動物園の裏側を学べたことは言うまでもなく、今まで習った知識をこ  
ういった施設で活用できる最高の機会だと、私は感じました。私は、哲学や倫理と関連付けなが  
らお話を聞いていました。  
(大学3年生)

動物園の歴史は今まで知らなかったため、とても興味深かったです。動物たちのことや施設の  
ことなどの説明を聞きながら動物園を回ること、動物園への理解を深めることができました。

特に印象に残ったのは、モルモットのふれあいの場で、施設の方が話していたことです。「最  
近の子どもたちが命に触れる経験が少ないため、モルモットとの触れ合いを通して命の重さや温  
もりを感じてほしい」と仰っていて、確かにその通りだと感じました。ただ触れ合ってほしいと  
いうだけではなく、子どもたちに何を学んでほしいのかということを確認したうえで触れ合っ  
てほしいと願うのはとても大切なことだと感じました。  
(大学2年生)



# ★事例研究★「周南市の教育について」

指導者 周南市教育委員会 教育部次長・教育政策課長 十楽 さゆりさん

コーホート（教職志望学生[学部生]や若手教員）の振り返りを通して、研修会の様子をお伝えします。

部活の地域移行についてのお話は、私が通っていた市の中学校とは違った施策なのではないかと感じた。周南市が山口県の中で先駆けであると感じた。地域移行によるメリットだけでなく、部活に頼っていた部分もある集団づくりに関してはデメリットがあり、そのためにも、学校における授業などを見直す必要があることについても知ることができた。

山口県の教員を目指しているのでも、自分の出身の市だけでなく、周南市をはじめそれぞれの市でどのような施策があるのかを知っておきたい。

（大学3年生）

行政的の立場からのお話については初めて聞いたので新鮮でした。周南市の教育大綱・基本方針のことを聞いて、恥ずかしながら、各市にそんなものがあったことすら知りませんでした。学校と行政が足並みをそろえていくためにも、きちんと知っておかなければと思いました。

また、学校で円滑に過ごせるのも、行政の方がいろんな部署や機関と協力してくださっているお陰だと分かったので、そういう方にも感謝しながら、協力しながら働いていきたいと思えます。

（小学校教諭）



後半には、石井岳文課長補佐、小林弘典指導主事も参加して下さって、「ミニ・シンポジウム」



教育委員会の方のお話を聞くことはまずないので、教員を目指す上で貴重な時間をいただきました。

関心があったのは部活動の地域移行です。働き方改革ではなく、子どもの環境を整えることに重点を置いていると学びました。特に、部活動というイメージをなくす、ボランティアや伝統芸能も含めるといった習い事をやるような感覚という言葉が印象に残りました。また、周南コミュニティクラブという団体はゆるいクラブのようなもので、子どもが集い、地域に帰っていくといったコンセプトを持っていることを知りました。部活動はどちらかというと学校がやるものという閉鎖的なイメージが強いですが、コミュニティクラブは地域の方と一緒に活動するといった意味合いがあると思えました。

私の時は、中学生は部活動に入るのが義務だと言われていました。今でもそういった方針の学校は多いと思えますが、多様な子どもたちがいる中で、部活動をする・しないも含め、新たな選択ができることが大切だと思えました。

（大学2年生）

部活動の地域移行の話が特に印象に残りました。「部活動が先生の負担になっている」という記事をよく新聞で読みますが、小学生の習い事と似たような扱いになれば、先生の負担も減ると感じました。「競技性とながりを重視した団体を分ける」というのは良いアイデアだと思えました。

しかし、経済格差などの問題も存在しているため、この問題について考え続けることが大切だと思えました。

また、長期的な計画を立てることの大切さも学ぶことができました。長期的な計画を立てることは難しいですが、重要なことであるため、その能力を身に付けることができるように努力したいです。

（大学2年生）



## ★記念講演★

# 「アスリートとして生きること～不可能とは可能性のこと～

講師 日立ソリューションズ「チームAURORA」スキー部 新田佳浩さん



平昌オリンピック（CCミドルクラシカル）金メダリスト、2022-23シーズンワールドカップ年間総合3位のパラスキーのレジェンドの新田さんのお話をお聞きしました。

世界相手に活躍されている方のお話をお聞きするチャンスはなかなかありません。まさか、メダルの実物まで全員に触らせてくださるとは！感激しましたね。

コーホート（教職志望学生[学部生]や若手教員）の振り返りを通して、ご講演の様子をお伝えします。



会員の中原基一郎先生（下松市立末武中学校）と新田さんは大学の同級生。講師紹介をしてくださいました。また、中原先生のお力添えて、新田さんを講師として招聘することができました。

心技体の心を特に大切にされているというお話が、印象深かった。技術や丈夫な体を持っていても、心がしっかりしていないと意味がない。何かをしたいという気持ちがなければ実現することはできない。

新田さんがオリンピックで金メダルを獲得したときには、獲得したい理由が明確にあったとお話をされていた。私は、どうすれば自分のやりたいことができるのかということばかりを考えてしまうが、やってみたいという気持ちを大切に、心技体の心をしっかりと持って行動したと思った。（大学3年）

アスリートってかっこいいなと思いました。

一番心に残ったのは、「失敗することで成功に近づいている」というお言葉です。何度も挑戦して、失敗も成功もされているからこそ出るお言葉なんだと思います。失敗したときに、そう思えると、ポジティブな気持ちで次に挑戦できると思うので、自分も心かけたいです。

そして、なりたい自分を思い描いて、逆算してスモールゴールを設定すること、自分はもちろん、子どもたちにも生かしていきたいです。

（小学校教諭）



私は、よくアスリートの方がインタビューなどで、「ここまで来られたのは周りの人のおかげで、感謝をしています」と話しているのを見て不思議に感じていました。なぜなら、周りのサポートがあったとしても努力をしたのは間違いなく本人であり、自分の辛かった時間を褒めたたえる意味でも自信をもって「努力をして頑張ってきました」と言っているのではと思っていました。

しかし、新田さんの話を聞いてアスリートの発する言葉の意味を少し理解できたと思います。大会に気象予報士を連れていくというエピソードをお聞きして、そこまでやるのかと非常に驚きました。でも、勝つためにはむしろ周りの力をどう活かすかが重要なのだと気付きました。どのアスリートも、個人のレベルはみなトップクラスだと思います。だからこそ、そこから一つ抜き出するには技術ではない何か目をつけることが、金メダルにつながるのだと感じました。

子どもに伝えたいこととしては、「実際にオリンピックのメダルに触れたことがある」、「パラリンピックのメダルには点字が打ってある」という体験談です。五感を通じて感じたことを伝えると、子どもは熱心に聞いてくれると思います。私自身、いつかメダルに触れたいなと漠然と思っていました。本物に触れるという体験は、その人の人生に大きな影響を与えると学びました。（大学3年生）

心のモチベーションを保つためには、自己分析や探求心が大切であると感じました。私は日ごろから何か漠然とした不安を感じる事がよくあります。新田さんのお話の中で、「不安なことを一個ずつ書き出していくことで、心が整理され気分が軽くなる」ということを学んだため、これから実践していきたいです。

「諦めない」と良いことがある」ということを子どもたちに伝えることができる教師になるためには、自分自身が何事にも挑戦し、失敗しても最後まで諦めず努力し続けることができる力を身に付けておくことが大事であると思います。

子どもたちに「やりたい」と思わせるためには、どのような心持ちで、どのように子どもたちと関わっていくべきであるか、改めて深く考えていこうと思いました。

また、無意識のうちにある「違う」という感覚で人を傷つけてしまうことがないように、自分の言動を振り返りたいです。（大学2年生）



## ★運営等について★

様々な地域の特徴を知ることができる貴重な機会になると思った。今回は周南市の教育施策についての講義があったが、他の市ではどのような特徴があるのかもお話を聞きたいと思った。

また、徳山動物園のように山口県にある施設には、将来教員になった時に子どもたちを連れてお世話になる可能性もあるので、山口県にある施設について自分が足を運び多くのことを学んで将来にいかしたいと感じた。

動物園では五感を使って学ぶことができ、本物って大切だなと思いました。また徳山駅の図書館もこんなステキな研修できるところがあるのだと知ることができました。

地図やアクセス方法など丁寧に記してくださったので、迷子になることなく集合場所に行けました。本当にありがとうございました。

大人数でバスに乗って市外に出る、というのは久しぶりで、社会見学のようなワクワク感があり、とても楽しかったです。コロナの影響で、最近では市外に出ること自体が少なくなっていたため、今回周南市に実際に赴くことができ嬉しかったです。実際に、自分の目で見たり聞いたり感じたりすることができる機会は、とても貴重だと思います。また機会があれば、他の地域でも学習したいです。

私は山口県出身ではなかったのですが、山口市以外の地域を少しでも知ることができ、大変ありがたかったです。有名な詩人まどみちおが山口県出身だと聞いたときは、驚きました。地元の人にとっては既知事実かもしれないけど、私にとっては初めてのことだったので、地域開催することで得られる効果は大きいと思いました。

## ★次回以降の予告★

### 第4・5回コーホート研修会

12月23日（土）に、Advanced course研修会と合同で開催します。

NITS・山口大学教職大学院コラボ研修プログラム事業(NITS カフェ)

「保護者と創造する学校の未来づくりセミナー」として開催します。

なかなか保護者と一緒に研修会！という機会もありませんので、是非、ご参加ください。



詳細については、また案内しますが、第6回研修会は、コーホート登録者以外の参加も受け付けております。

是非、お仲間や同級生に声をかけてくださいね。共に、真面目に、楽しく学ぶコーホートの仲間を増やしていきましょう。

たくさんの講座がありますので、お楽しみに！

### 第6回コーホート研修会

Advanced course研修会と合同開催です。

「ちゃぶ台次世代コーホート第6回研修会」  
「ちゃぶ台次世代コーホートAdvanced Course第9回研修会」  
山口大学教育学部・山口大学大学院教育学研究科・独立行政法人教職員支援機構山口大学センター・山口県教育委員会・山口市教育委員会連携事業

2023年2月10日（土）

授業づくりや幅広い教育課題のワークショップや課題研究発表を開催します！



山口大学教育学部：B棟：  
ちゃぶ台ルーム・2階教室・4階教室

★受付は、ちゃぶ台ルーム前にて12:30～行います。  
(天候によっては、24番教室前・教室内にて)